

児童・生徒の作品コーナー



白浜小学校児童の紹介



〔にじのはし〕

ねずみのぎょうれつと、とりのいろをくふうしてかきました。



2年1組 實川智恵ちゃん



〔にじのはし〕

やさいをかいたり、花や木をうえたり、3つの山をたのしくかきました。



2年2組 林朝美ちゃん



我が家の家庭教育

●新井 鈴木 さなえ

「光陰矢の如し」この諺の様に、農家に稼いで十三年、あつという間に月日が、過ぎてしまいました。その間、三人の子供が生まれ、祖々父母の他界、母屋新築、夫の転職と、無我夢中でしたが、今思えば、満足した日々でした。子供達も、小六、小四

小二と、成長し、顔を合わせると、けんかばかりしています。けれど、帰宅が遅いと、「兄ちゃん、どうしたのかな。」と心配する。今の所、特別な心配もなく順調に育っていると思います。わが家では、三つ気をつけている事があります。

健康第一に

法。挨拶、日常茶飯事のこと身の回り

健康である事。二男誕生の時、誕生の喜びもつかの間、容体が悪く、総合病院へ、入院という事になりました。生きた心地もしませんでした。医師の『心配いりませんよ。』の一言が、励みになったと、主人が言っていました。

の整理整頓、数えきれません。挨拶は、人間社会の基礎。関係を深めていくには、最も必要な事と思います。幸い、我が家は人の出入りも多いので、良い経験になります。三つ目は、家庭円満であること。夫婦間も、嫁姑間も、

その後何度か通院しましたが今は、その子が一番丈夫で、昨年などは皆勤賞でした。食生活において、栄養計算などしません。好き嫌いをなく、何でも食べる様に言っています。

二つ目は、基礎的な礼儀作法。挨拶、



健康で、語らいのある家庭を  
鈴木さん親子

います。私自身、まだまだ未熟ですから、頭ごなしに怒ったり、命令口調になったりして……。

互いに、相手を尊重しあい、時には譲り合い、協力しあってこそ円満な家庭になると思。大人も、悪い所は反省し、良い所は、認めてやりながら子供と共に、成長して行きたいと思っています。家族全員揃って食事をする機会を多く持ち、毎日健康で、語らいのある家庭を営んで行きたいと思っています。それが、二十一世紀の社会へ巣立つ子供達の、心の糧になると信じ